

所内 第6回 写真コンクール 入選作 「五郎沢カール」 鉱床部 核原料資源課 石原 舜三

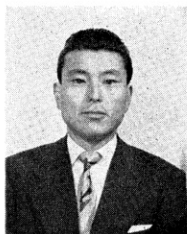
五 郎 沢 カ ー ル

北アルプス 黒部五郎岳 (2,848m) の五郎沢カールは 雄大で美しい カールバンドに残雪が光り 近景の残雪と共に 面白い構図を示している

過去の氷河時代には 日本の雪線高度は 現在より低かったと考えられ中部山岳地方や北海道日高山地などに氷蝕地形が残っている

北アルプスの氷河地形は カール底が 海拔2,600m 強の高さに 30以上知られている 氷河は雪線から上の部分で半球状のくぼみ(カール)を削り出す その底には氷河に削られた Rund-Höcker や氷蝕の礫; モレーンの丘などがみられ その側壁は急峻なカールバンドとなる

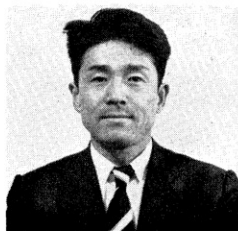
五郎沢カールは Rund-Höcker も発達しておらず カールとしては代表的なものではない しかし カールバンドに中生代の堆積岩(手取統)と花崗閃緑岩との接触部がみられる 黒部五郎岳に登る予定のある人は 地質が地形にどのように反映しているかを 縦走路からでも観察していただきたいと思う



小谷 良隆 技官

小谷 技官 サラワクへ出張

物理探査部小谷良隆技官は英領ボルネオ サラワクの鉄鉱床探査(磁気探査)のため 去る9月1日羽田空港から出発した なお 調査期間は約2カ月



菊池 徹 技官

菊池 技官 インドネシアへ赴任

鉱床部菊池徹技官は コロンボプランによるインドネシア国政府顧問として 同国のバンドン地質調査所へ去る9月12日赴任した なお 任期は1カ年の予定

地質ニュースに掲載された物理探査の記事 (No.1~No.72)

No.		No.
5	人工地震	31
5	わが国物理探査の生い立ち	31
5	有明海北部の海底重力探査	33
7	電気探査	33
7	地下深部の開発と新しい物理探査の技術	46
8	磁気探査	46
10	放射能探査	48
10	日本最大の爆発	48
11	重力探査	49
11	検層について	49
12	地震探査	52
12	温泉坑井の調査法(物理検層)	52
17	地震探査法による海底資源の開発	52
20.41	空中放射能探査	52
20.41	フロント磁力計による海上磁気探査	52
21.39	自動車放射能探査	59
22	島原半島周辺の 海陸総合調査(重力探査)	59
23	海底の地震探査	60
23	ウラン調査の機器とその使用法	60
23	磁気録音式地震探査器	60
25	海底重力計	64
25	スーパーカーによる有明海の調査	64
28.29.31	岩石の磁性(1)(2)(3)	64
28.29.31	東京タワーの重力測定	64
31	波高分析装置	65
31	松川地熱地帯の物理探査	65